

平成 27 年 1 月 27 日

報道関係各位

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

ISO/IEC 25051:2006 準拠 PSQ 認証制度 認証製品 決定！

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会（略称「CSAJ」、港区赤坂）は、ソフトウェア製品の品質を第三者が評価する PSQ 認証制度において、1 月 26 日(月)に第 8 回判定委員会（委員長：東 基衛氏（早稲田大学 名誉教授））を開催し、以下 1 社 1 製品が認証されました。
対象製品の詳細は PSQ 認証制度のポータルサイト上で発表します。

- PSQ 認証製品一覧のほか、本制度をより分かりやすく解説したポータルサイト
<http://www.psq-japan.com/>

製品名	申請企業
LogRevi (ログレビ)	株式会社インテック

株式会社インテックがシステムログの統合管理ソフトウェア「LogRevi (ログレビ)」で初めての認証を取得しました。

今回の判定により、PSQ 認証取得製品の合計は 15 社 23 製品となりました。
今春には、ISO/IEC25051:2014 に基づく新評価基準による評価をスタートさせる予定であり、これにより、認証範囲がクラウドアプリケーションまで拡大されます。

<添付資料 1 : 認証製品一覧>

<添付資料 2 : パッケージソフトウェア品質認証制度（略称：PSQ 認証制度）について>

■問い合わせ先

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 PSQ 認証室 e-mail:psq_info@csaj.jp
〒107-0052 東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル 4階
TEL:03-3560-8452 FAX:03-3560-8441 <http://www.csaj.jp/psq/>

＜添付資料 1：認証製品一覧＞

認 証 製 品 名	LogRevi (ログレビ)
バ ー ジ ョ ン	6.1
企 業 名	株式会社インテック
認 証 番 号	PSQ-Q2014006
認 証 日	平成 27 年 1 月 26 日

これまでに認証を取得した製品

認証番号	申請者	製品名
PSQ-Q2013001	サイボウズ株式会社	サイボウズ ガルーン
PSQ-Q2013002	ネクストウェア株式会社	Speedy Call
PSQ-Q2013003	株式会社フォーラムエイト	土留め工の性能設計計算 (弾塑性解析II+)
PSQ-Q2013003-1	株式会社フォーラムエイト	土留め工の性能設計計算 (弾塑性解析II+) Ver2. 0
PSQ-Q2013004	株式会社フォーラムエイト	置換基礎の設計計算 Ver. 2
PSQ-Q2013005	東京システムハウス株式会社	iOptMICS (アイオプトミクス)
PSQ-Q2013006	株式会社オービックビジネスコンサルタント	勘定奉行V ERP8 (勘定奉行i8)
PSQ-Q2013007	ピー・シー・エー株式会社	PCA給与X
PSQ-Q2013008	株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 販売
PSQ-Q2013009	株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 会計
PSQ-Q2013010	株式会社OSK	SMILE BS 2nd Edition 人事給与
PSQ-Q2013011	日本ナレッジ株式会社	PowerSteel
PSQ-Q2013012	日本事務器株式会社	CORE Plus NEO 通販
PSQ-Q2013013	日本事務器株式会社	総合健康管理システム CARNAS
PSQ-Q2014001	株式会社インテリジェント ウェイブ	VeTracer
PSQ-Q2014002	ピー・シー・エー株式会社	PCA会計X
PSQ-Q2014003	株式会社オービックビジネスコンサルタント	人事奉行V ERP8 (人事奉行i8)
PSQ-Q2014004	株式会社オールワークス	ASTEC-X
PSQ-Q2014005	株式会社エヌジェーケー	DataNature Smart Ver2
認証番号	申請者	製品名
PSQ-Q2014007	クイックバインダー株式会社	QuickBinder for iAP
PSQ-Q2014008	サイボウズ株式会社	kintone
PSQ-Q2014009	弥生株式会社	やよいの青色申告オンライン
PSQ-Q2014010	弥生株式会社	やよいの白色申告オンライン

<添付資料2:パッケージソフトウェア品質認証制度（略称：PSQ 認証制度）について>



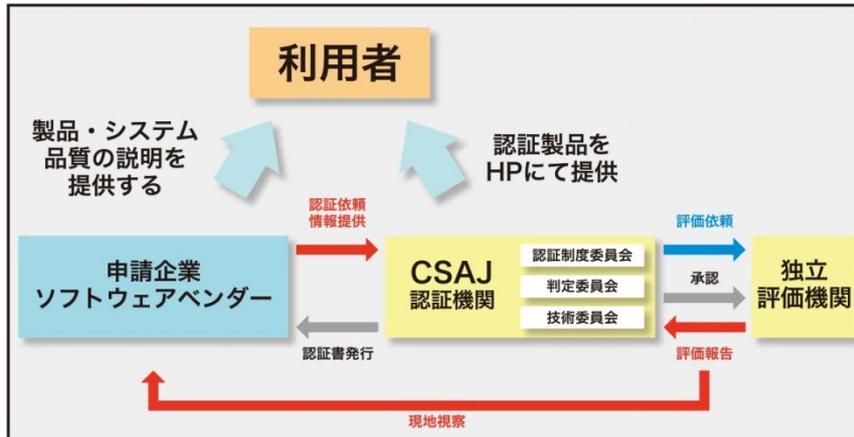
ISO/IEC 25051:2006

<目的>

- ・パッケージソフト製品に関する利用者や市場への品質説明力強化
- ・国際市場における日本製品の品質に関する正当な評価の確立
- ・利用者の潜在的なリスク軽減
- ・ソフトウェア製品の本質的な品質向上

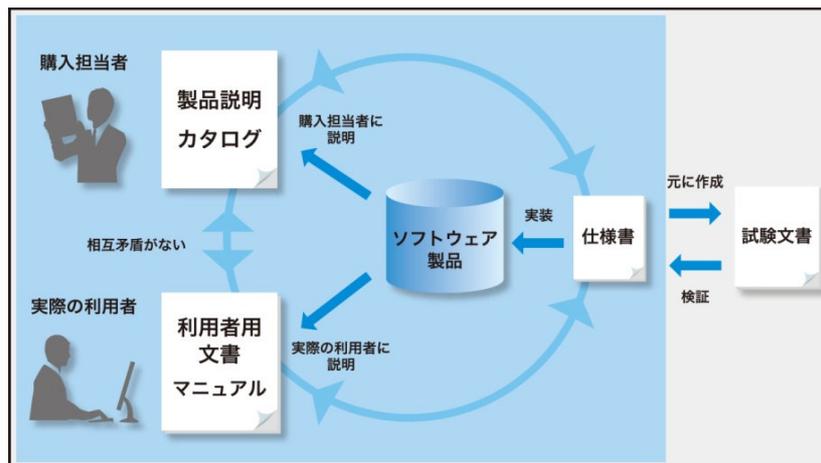
<認証フロー>

申請者は認証機関へ対象となる製品を申請します。認証機関は申請内容の確認後評価機関に評価依頼をし、評価基準に則り評価を実施し、最終的には判定委員会で認証判定を行い、合格したものに対して認証書を発行します。



<認証ポイント>

PSQ 認証制度では、「製品説明（カタログなど）と利用者用文書（マニュアルなど）が国際規格 ISO/IEC25051及び国内規格 JIS X25051に規定されている要求事項に適合していること、およびこれらの文書に記載された内容がソフトウェアとして実現されていることを確認できること」が要件となります。品質ライフサイクルの観点では企画から廃棄までの範囲で品質を考えることもありますが、PSQ 認証制度では組織能力や管理プロセスは審査対象ではありません。また、製品の品質については、「試験文書」を適正に作成し、試験を実施しているかで評価します。



〈パッケージソフトウェア品質認証制度と各種文書の関係図〉

<認証費用>

認証にかかる費用は以下の通りとなります。認証A～Cの違いについては、製品の持つ機能数と評価機関による評価対象となる機能数により異なりますので、事前申請時に金額を提示します。

認証A	50万円（税別）
認証B	75万円（税別）
認証C	100万円（税別）